

れんげぐみ だより

令和6年度 鎌倉保育園

8月号の園だよりでもお知らせいたしました「とうきょうすくわくプログラム」は、乳幼児の豊かな心と育ちをサポートするため、主体的・共同的な探究活動を通じて保育の充実を図ることを目的とした事業です。鎌倉保育園でも事業の実践を行うことにしました。れんげ組がある2階の保育室は遊んでいるときに日が差して明るく暖かいです。その中で日が家具に反射したり夕方には影が出来て光と影に興味を示していたのでテーマを「光と影」にして取り組みました。

①光と影を見つけた！

10月頃、夕方お部屋で遊んでいると窓から眩しい西日が差し込みました。どこから光が来ているのか探し始めるれんげ組さん。次にその光がパーテーションにうつり、その光を手で隠そうとしていました。また、さらに日が沈み光が差し込む場所が変わり違うパーテーションには影ができました。パーテーションにうつる黒いところを不思議そうに見つめる子どもたち。職員が影絵のように手で形を作ると黒いところが形に変化して驚く姿が。真似をして手を動かすお友だちもいました！
光と影を自分たちで見つけ新たな発見が出来ました。



②光と色が変わっていく！

おしゃべりが上手になり絵本や歌を通して色に興味を持ち始めたれんげ組さん。12月頃保育室で遊んでいるとある四角い箱が…。みんな「なんだろう？」と不思議な様子。部屋を暗くしてみると四角い箱がどんどん色を変えて光りはじめました！色の変化に合わせて「あか！」「あお！」「きいろ！」などと発する子どもたち。明るい部屋よりも暗い部屋の方が光がしっかりと見えることにも気付きました。そして、箱に顔を近づけて色の変化を楽しむお友だちも。そんなお友だちの姿を見て「〇〇くんの顔も色が変わってる」と顔に光が反射して色が変わっていることに気付いた子もいました。素敵な気づきがたくさん見られました♪



③光であそぶ！

光にどんどん興味を示し始めているれんげ組さん。暖かい日にはお部屋にも眩しいほどの日が差し込み、光が反射している場所を発見！窓に貼ってあるガラスタックも反射し緑色の光が現れました。すると、その光を見て「あおむしのトンネルだ！」と発したお友だちが…。現在、れんげ組にははらぺこあおむしのブームがきていてその発見に至った様子。積み木のあおむしを持ってきて緑の光の上においてお散歩を始めていました♪その後も、どこに立ったら光が消えてどこに動いたら光がまた現れるかをお友だちと一生懸命考えて遊んでいました。



戸外遊びでも光で遊ぶ子どもたち。テラスにレジャーシートを敷き、カラー積み木を準備しました。「遊んでいいよ！」と声を掛け見守っているとカラー積み木を手に取り太陽にかざし始めました。また、他のお友だちは床に置き影に色がついていることに気が付きました！それぞれが光の反射で遊んでいると雲が太陽を隠し、光で遊べなくなってしまいました…。すると太陽の出ている方向を向きながら「たいようさ～ん！でてきて～！」と叫ぶれんげ組さん。それでも太陽は出てきてくれず諦めていましたが、時間が経つと再び日が当たり始めました♪光が現れまた遊ぶことが出来たれんげ組さんでした♪

④色の違いに気付く

次第に暖かい日も増えてきて、より「日向」と「日陰」、「明るい」「暗い」に興味を示し園庭で明るい所を探して遊ぶ姿も見られるようになってきました。

2月21日(金)に鎌倉公園の野草園に散歩に行きました。その時にトイレトペーパーの芯にカラーセロファンを貼って作った双眼鏡を持っていきお散歩しながら覗いてみました。最初は覗いても「なにも見えない！」と言っていた子どもたちでしたがバギーに乗りながらどんどん進んでいくと電車を発見！普段見える電車と双眼鏡から見える電車の色が違うことに気付く「色が違う！」と見比べていました。そこから、空や鳥など様々な風景を見比べて色の違いを楽しんでいました♪

4回にわたるすくわくを通して「光と影」について様々な発見をすることができたれんげ組さん。子どもたちの発見に驚かされることもありましたが♪今後もたくさんの発見をして成長してほしいですね！

すくわく考察

- ・1歳児クラスはまだ言葉が上手く出ない児も多いが子どもたちの視線や動きで光や影に興味を示していることに気が付きそこから活動に繋げることができた。
- ・「光と影」の活動を進めて行くうちに日頃の生活の中でも「日向」と「日陰」に興味を示したり明るい場所を手で隠すなどの姿が見られた。
- ・保育者が先に言葉を掛けて伝えるのではなく、子どもの動きを待って子ども自身の発見を大切にしなければいけないことを学んだ。